



2022 年度プレハブ住宅完工戸数実績及び生産能力調査報告

一般社団法人プレハブ建築協会（会長：堀内容介 積水ハウス㈱代表取締役副会長執行役員）では、当協会加盟会員に対して、「プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査」を実施しました。

この調査は、プレハブ住宅の完工状況及び生産能力の推移を的確に把握し、プレハブ住宅の基礎資料として広く情報提供するものです。

このほど、2022 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月。以下同じ。）の調査結果をまとめましたので、「2022 年度プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査報告書」として発表いたします。

調査結果概要は次のとおりです。

■ 総 論（本文 P4～5）

2022年度に完工されたプレハブ住宅の総数は124,980戸で、2021年度（123,470戸）に比べて1,510戸の増加（対前年度比101.2%）となった。全新設住宅着工戸数に対するプレハブ住宅完工戸数の割合は14.5%（2021年度は14.3%）となった。

2022年度末のプレハブ住宅年間生産能力は236,427戸分で、2021年度に比べて7,850戸分の増加となった。稼働率は52.9%で、前年度と比較して1.1ポイントの減少となった。

■ 構造別完工戸数（本文 P6）

構造別でみると、木質系住宅は、11,421戸（対前年度比90.4%）と4年連続の減少となった。

鉄鋼系住宅は、101,612戸（同比100.3%）と2年連続の増加となった。

コンクリート系低層住宅は、521戸（同比120.9%）と10年ぶりの増加となった。

コンクリート系中高層住宅は、11,426戸（同比126.0%）と2年連続の増加となった。

■ 建方別・階層別完工戸数（本文 P7）

建方別・階層別傾向を一戸建住宅、低層共同建住宅、中高層共同建住宅でみると、一戸建住宅は41,206戸（対前年度比93.3%）で、2年ぶりの減少となった。

低層共同建住宅は24,017戸（同比97.3%）で、7年連続の減少となった。

中高層共同建住宅は59,757戸（同比109.4%）で、2年連続の増加となった。

■ 賃貸住宅完工戸数（本文 P8）

賃貸住宅のプレハブ住宅完工戸数は67,267戸であり、内訳を構造別にみると、木質系2,295戸、鉄鋼系63,519戸、コンクリート系1,453戸となっている。なお、全賃貸住宅着工戸数に対するプレハブ賃貸住宅完工戸数の割合は19.4%で、前年度と比較して1.4ポイントの上昇となった。

■ 長期優良住宅完工戸数（本文 P10）

長期優良住宅のプレハブ住宅完工戸数は35,102戸であり、プレハブ住宅完工総数の28.1%となった。内訳を構造別にみると、木質系7,208戸、鉄鋼系27,800戸、コンクリート系94戸となっている。また、内訳を建方別にみると、一戸建34,961戸、共同建141戸となっている。

一戸建住宅について長期優良住宅率（プレハブ住宅完工戸数に占める長期優良住宅の割合）は、木質系が78.5%、鉄鋼系が87.5%、コンクリート系が21.4%、全体では84.8%であった。

（注1）長期優良住宅とは、「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、耐震性、耐久性、省エネルギー性、バリアフリー性等に優れ、維持管理計画が策定された長期にわたり良好な状態で使用出来る住宅として所管行政庁から認定を受けた住宅。

■ ZEH（一戸建）完工戸数（本文 P11）

ZEH（一戸建）のプレハブ住宅完工戸数は30,941戸であり、内訳を構造別にみると、木質系6,283戸、鉄鋼系24,654戸、コンクリート系4戸となっている。

一戸建住宅についてZEH率（プレハブ住宅完工戸数に占めるZEHの割合）は、木質系が68.7%、鉄鋼系が77.9%、コンクリート系が1.0%、全体では75.1%であった。この比率は、前年度より10.2ポイント上昇し、7年連続の増加となった。

（注2）ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

■ 地域別・都道府県別完工戸数（本文 P12～13）

地域別のプレハブ住宅完工戸数では、大都市および隣接県に集中する傾向に大きな変化はなく、2022年度も関東、中部、近畿の3地域を合計すると、プレハブ住宅総計の80.4%（前年度80.0%）であった。内、一戸建が74.6%（同74.3%）、共同建が83.1%（同83.2%）、賃貸住宅が81.8%（同86.2%）であった。

都道府県別のプレハブ住宅完工戸数では、1万戸を超えた都道府県は東京都、神奈川県、愛知県の3都県であった。なお、プレハブ住宅比率（プレハブ住宅完工戸数の全新設住宅着工戸数に対する割合）は、高い順に、岐阜県（23.8%）、栃木県（21.4%）、奈良県（21.3%）であった。

■ 上位社の完工戸数・シェア（本文 P31）

一戸建住宅、低層共同建住宅、中高層共同建住宅の各部門における上位社のシェアをみると、まず一戸建住宅では、上位10社で99.7%と19年連続で99%台を示している。特にトップグループを形成している上位5社だけでシェアが81.7%とプレハブ住宅の一戸建市場の大部分を占めている。また、6位から10位の間5社のシェアは、5社合計で18.0%であった。

低層共同建住宅については上位5社のシェアは91.7%であり、中高層共同建住宅については上位5社のシェアは86.7%であった。

（調査結果の留意点）

本調査は、住宅の完工時点で捉えているので、国土交通省の「建築着工統計調査」と調査時点が異なる。従って、全新設住宅着工戸数に対するプレハブ住宅の割合については、便宜上、着工・完工といった調査時点が異なるものを比較して算出している。

以上

<本件に対するお問い合わせ先>

一般社団法人 プレハブ建築協会
広報部（担当：原田） 電話：03-5280-3125
メールアドレス：kouho@purekyo.or.jp

プレハブ住宅完工戸数実績調査 及び生産能力調査報告書

2022 年度実績

2023 年 9 月



一般社団法人

プレハブ建築協会

調査の概要

① 調査の目的・方法	2
② 調査対象期間	2
③ 調査対象企業数及び回答率	2
④ 用語の解説	2
⑤ その他	3

調査結果分析

① プレハブ住宅完工戸数・プレハブ住宅比率の推移、プレハブ住宅生産能力・稼働率の推移	4
② 構造別・建方別・階層別実績の推移	6
③ 階数別実績と賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅の実績	8
④ 公的機関発注完工戸数実績	9
⑤ 長期優良住宅実績	10
⑥ ZEH 実績（一戸建）	11
⑦ 都道府県別実績	12
⑧ プレハブ住宅生産能力	19
（参考）災害時における応急仮設住宅の建設	20

資料編

資料 ① 都道府県別、構造別完工（戸数、プレハブ住宅比率）	23
資料 ② 都道府県別、構造別一戸建完工（戸数、プレハブ住宅比率）	24
資料 ③ 都道府県別、構造別共同建完工（戸数、プレハブ住宅比率）	25
資料 ④ 都道府県別、構造別賃貸住宅完工（戸数、プレハブ住宅比率）	26
資料 ⑤ 都道府県別、構造別長期優良住宅完工（一戸建）（戸数、プレハブ住宅比率）	27
資料 ⑥ 都道府県別、構造別長期優良住宅完工（共同建）（戸数、プレハブ住宅比率）	28
資料 ⑦ 都道府県別、構造別 ZEH 完工（一戸建）（戸数、ZEH 率）	29
資料 ⑧ 都道府県別、構造別公的機関発注完工（戸数）	30
資料 ⑨ 建方別、階層別、構造別 上位社（戸数、シェア）	31
資料 ⑩ プレハブ住宅工場所在地（木質系、鉄鋼系、コンクリート系低層、コンクリート系中高層）	32

1

調査の目的・方法

本報告書は、当協会加盟の会員企業を対象として、プレハブ住宅の普及発展を図るための基礎資料として役立てることを目的に、『プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査』を実施し、プレハブ住宅の完工時点で捉えてまとめたものである。従って、国土交通省の「建築着工統計調査」とは調査時点等が異なる。

2

調査対象期間

2022年度(2022年4月～2023年3月)を対象に、2023年5月～6月に『プレハブ住宅完工戸数調査票及び生産能力調査票』を配布、回収し、2023年9月に本報告書としてまとめたものである。

3

調査対象企業数及び回答率

調査対象企業数・回答企業数・回答率のそれぞれは表1の通りである。

表1 調査対象企業数及び回答率

	調査企業数	回答企業数	回答率
2022年度	81社	81社	100%

4

用語の解説

<構 造>

プレハブ住宅

住宅の主要構造部の壁、柱、床、はり、屋根又は階段等の部材を機械的方法で大量に工場生産し、現場において、これらの部材により組立建築を行う住宅をいう。

ユニット工法

工場で生産したユニットを現場で組み立てて建築するプレハブ工法の一つ。工場で外壁から内装、配線など完成に近い状態まで仕上げた箱型のユニットを建設現場へ運び、組み立てて建築するもの。

木質系(非ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が木造で、工場で生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法以外のもの。

木質系(ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が木造で、工場で生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法のもの。

鉄鋼系(非ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が鉄骨造で、工場で生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法以外のもの。

鉄鋼系(ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が鉄骨造で、工場で生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法のもの。

コンクリート系

プレハブ住宅のうち、主要構造部がコンクリート造で、工場で生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもの。

<建 方>

一戸建

建築確認申請上、1棟1戸であるもの。

(店舗、事務所、倉庫、診療所等の各種併用住宅を含む。)

共同建

一戸建でないもの。1棟2戸以上の共同住宅や長屋建を含む。

※二世帯住宅や賃貸併用住宅などで、確認申請上1棟2戸以上のものは共同建を含む。

<階 数>

一戸建

低層：1～2階

中層：3階以上

共同建

低層：1～2階

中層：3～5階

高層：6階以上

<利用関係>

賃貸住宅

建築主が賃貸する目的で建築するもの。

サ高住（サービス付き高齢者向け住宅）

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」に基づき、「サービス付き高齢者向け住宅」として、都道府県知事等地方公共団体に登録されたもの。

<その他>

長期優良住宅

「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、耐震性、耐久性、省エネルギー性、バリアフリー性等に優れ、維持管理計画が策定された長期にわたり良好な状態で使用できる住宅として所管行政庁から認定を受けた住宅。

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）

外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

発注者が公的機関であるもの

公的機関とは民間以外のもの。

※発注者が国、地方公共団体、UR都市機構等独立行政法人、地方住宅供給公社等のもの。



その他

2015年度の調査から用語の定義及びルールの明確化等を行ったことにより、時系列統計で2014年度以前と多少不連続なものがある。

本調査は、住宅の完工時点で捉えているため、国土交通省の「建築着工統計調査」と調査時点が異なる。従って、全新設住宅着工戸数に対するプレハブ住宅の割合については、便宜上、着工・完工といった調査時点が異なるものを比較して算出している。

尚、生産能力戸数とは、

- ①木質系、鉄鋼系、コンクリート系低層については、回答した各会員企業がそれぞれ決め一戸当たりを使用する部材量の戸数換算値を基に算出している。
- ②コンクリート系中高層については、一戸当たりを使用する部材量の統一基準値を基に算出している。

総 論

（プレハブ住宅完工総戸数の状況）

□ 2022 年度（2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日）のプレハブ住宅完工総数は、124,980 戸。
前年度比 1.2%の増加となった。

□ プレハブ住宅完工戸数の推移をみると、近年では 2016 年度の 168,443 戸をピークに、以後は
減少が続いていたが、2021 年度には 5 年ぶりに増加に転じ、2022 年度も増加した。

（プレハブ住宅完工戸数の全住宅着工戸数に対する割合。以下「プレハブ住宅比率」と記述）

□ 同年度の全着工戸数（国土交通省建築着工統計調査 2022 年度）に対するプレハブ住宅比率は
14.5%と前年度より 0.2 ポイントの上昇となった。

□ プレハブ住宅比率は、近年では低下傾向が続いていたが、2022 年度は上昇した。

（プレハブ住宅生産能力）

□ 2022 年度のプレハブ住宅生産能力は、生産工場数が 150 工場、生産能力戸数が 236,427 戸であっ
た。

□ 2021 年度と比較して、工場数は 2 工場の増加、生産能力戸数は 7,850 戸の増加となった。

□ 生産能力戸数の構造別構成比をみると、木質系 4.4%、鉄鋼系 67.5%、コンクリート系低層 5.3%、
コンクリート系中高層 22.8%であった。

表1 プレハブ住宅完工推移（戸数、プレハブ住宅比率）、プレハブ住宅生産能力推移（戸数、稼働率）

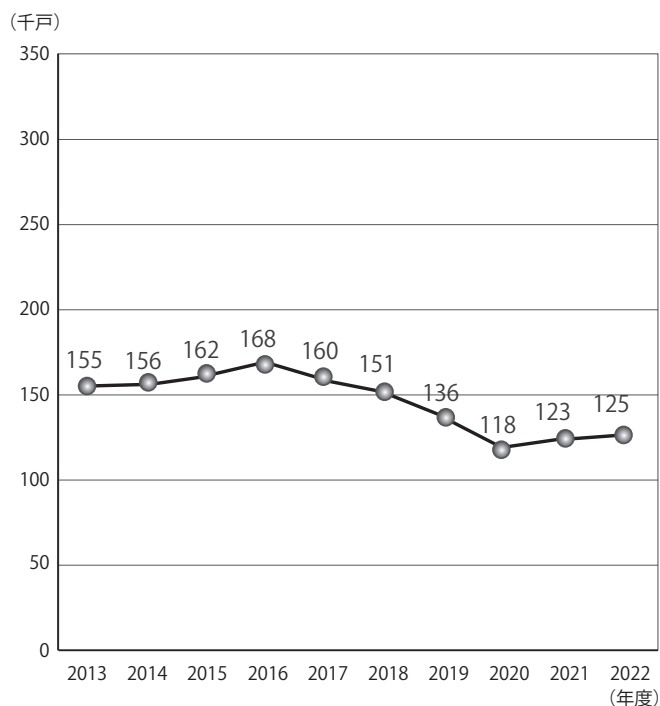
		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
		対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比	
プレハブ住宅完工戸数	A	150,858戸	94.5% 注2	135,783戸	90.0%	118,228戸	87.1%	123,470戸	104.4%	124,980戸	101.2%
全新設住宅着工戸数 注1	B	952,936戸	100.7%	883,687戸	92.7%	812,164戸	91.9%	865,909戸	106.6%	860,828戸	99.4%
プレハブ住宅比率	A/B	15.8%	-1.1pt 注3	15.4%	-0.4pt	14.6%	-0.8pt	14.3%	-0.3pt	14.5%	+0.2pt
プレハブ住宅生産能力数	C	297,903戸	102.4%	293,852戸	98.6%	268,001戸	91.2%	228,577戸	85.3%	236,427戸	103.4%
プレハブ住宅生産稼働率	A/C	50.6%	-4.3pt	46.2%	-4.4pt	44.1%	-2.1pt	54.0%	+9.9pt	52.9%	-1.1pt

（注1）国土交通省「建築着工統計調査」（2022年度）

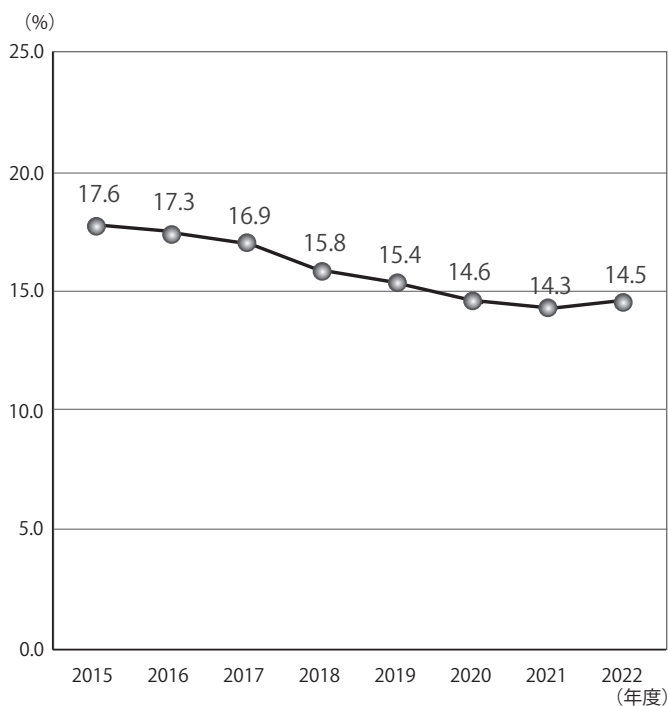
（注2）%の数値は今年度戸数÷前年度戸数。

（注3）ptの数値は前年度との比率の差をポイントとしてptで表記。

グラフ1 プレハブ住宅完工戸数



グラフ2 プレハブ住宅比率の推移



（注）プレハブ住宅比率とはプレハブ住宅完工戸数の全住宅着工戸数に対する割合

（参考）人口・世帯数推移

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
全国の人口※	127,707,259人	99.84%	127,443,563人	99.79%	127,138,033人	99.76%	126,654,244人	99.62%	125,927,902人	99.43%
全国の世帯数※	58,007,536世帯	100.92%	58,527,117世帯	100.90%	59,071,519世帯	100.93%	59,497,356世帯	100.72%	59,761,065世帯	100.44%

（注）各年1月1日現在の数値である。（外国人を含む）

※「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（総務省）

(1) 構造別実績の推移

(木質系住宅の状況)

□ 2022 年度の木質系住宅完工戸数は、11,421 戸。

□ 木質系住宅完工戸数の推移は、2018 年度は前年度比ほぼ横ばい、2019 年度は同 23.5%の減少、2020 年度は同 6.9%の減少、2021 年度は同 5.5%の減少、2022 年度は同 9.6%の減少となった。

(鉄鋼系住宅の状況)

□ 2022 年度の鉄鋼系住宅完工戸数は、101,612 戸。

□ 鉄鋼系住宅完工戸数の推移は、2018 年度は前年度比 8.2%の減少、2019 年度は同 6.2%の減少、2020 年度は同 13.1%の減少となっていたが、2021 年度は同 2.0%の増加、2022 年度は同 0.3%の増加となった。

(コンクリート系低層住宅の状況)

□ 2022 年度のコンクリート系低層住宅完工戸数は、521 戸。前年度比 20.9%の増加となった。

□ コンクリート系低層住宅完工戸数の推移は、2012 年度をピークに、以後減少傾向が続いていたが、2022 年度は増加となった。

(コンクリート系中高層住宅の状況)

□ 2022 年度のコンクリート系中高層住宅完工戸数は、11,426 戸。前年度比 26.0%の増加となった。

□ コンクリート系中高層住宅完工戸数の推移は、年度によって増減のバラツキが大きい。

表 2-1 構造別推移 (戸数、前年度比)

	2018 年度	対前年度比	2019 年度	対前年度比	2020 年度	対前年度比	2021 年度	対前年度比	2022 年度	対前年度比
木質系	18,786戸	100.0%	14,367戸	76.5%	13,370戸	93.1%	12,630戸	94.5%	11,421戸	90.4%
鉄鋼系	121,815戸	91.8%	114,272戸	93.8%	99,322戸	86.9%	101,338戸	102.0%	101,612戸	100.3%
コンクリート系低層	563戸	89.5%	561戸	99.6%	515戸	91.8%	431戸	83.7%	521戸	120.9%
コンクリート系中高層	9,694戸	128.6%	6,583戸	67.9%	5,021戸	76.3%	9,071戸	180.7%	11,426戸	126.0%
合 計	150,858戸	94.5%	135,783戸	90.0%	118,228戸	87.1%	123,470戸	104.4%	124,980戸	101.2%

(2) 建方別・階層別実績の推移

(一戸建の状況)

□ 2022年度の一戸建は、41,206戸。前年度比6.7%の減少となった。

□ 一戸建は、2019年度・2020年度は減少し、2021年度には増加に転じたが、2022年度は減少した。

(共同建の状況)

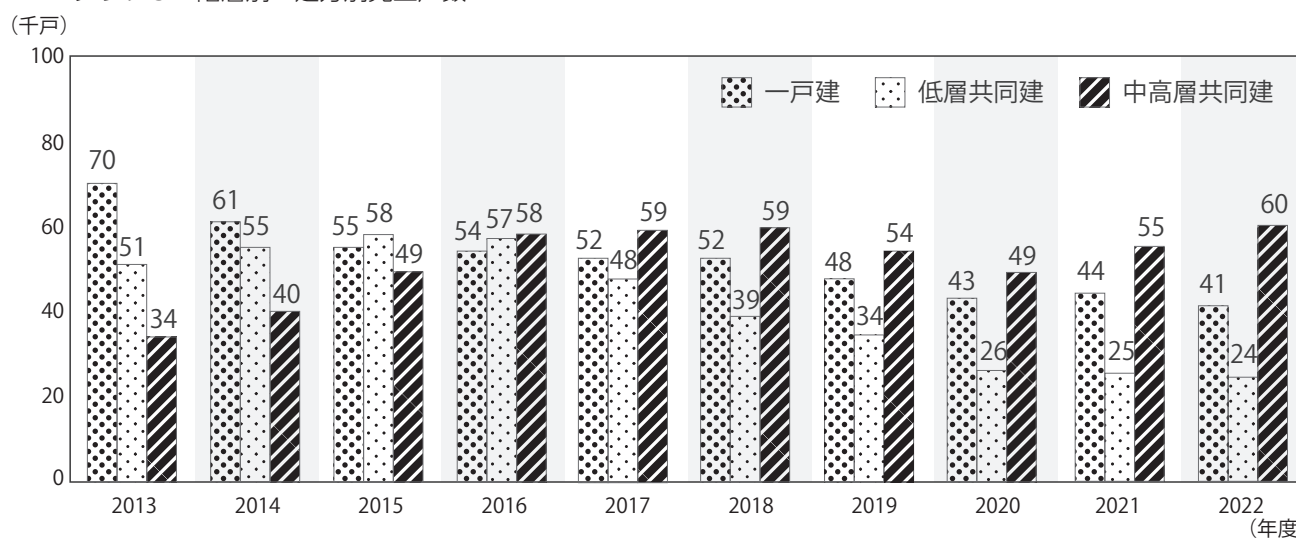
□ 2022年度の共同建は、83,774戸。前年度比5.6%の増加となった。

□ 共同建は、減少傾向が続いていたが、2021年度には増加に転じ、2022年度も増加した。

表 2-2 建方別、階層別、構造別完工推移（戸数、前年度比）

			2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度	
				対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比
一戸建	低層	木質系	12,695戸	109.1%	10,517戸	82.8%	10,420戸	99.1%	10,250戸	98.4%	8,918戸	87.0%
		鉄鋼系	36,361戸	97.2%	34,331戸	94.4%	29,771戸	86.7%	31,559戸	106.0%	29,967戸	95.0%
		コンクリート系	396戸	100.3%	389戸	98.2%	365戸	93.8%	317戸	86.8%	380戸	119.9%
		小 計	49,452戸	100.1%	45,237戸	91.5%	40,556戸	89.7%	42,126戸	103.9%	39,265戸	93.2%
	中高層	木質系	488戸	133.7%	311戸	63.7%	272戸	87.5%	243戸	89.3%	227戸	93.4%
		鉄鋼系	2,334戸	100.4%	2,240戸	96.0%	1,785戸	79.7%	1,750戸	98.0%	1,688戸	96.5%
		コンクリート系	78戸	130.0%	88戸	112.8%	39戸	44.3%	36戸	92.3%	26戸	72.2%
		小 計	2,900戸	105.5%	2,639戸	91.0%	2,096戸	79.4%	2,029戸	96.8%	1,941戸	95.7%
	合 計		52,352戸	100.3%	47,876戸	91.5%	42,652戸	89.1%	44,155戸	103.5%	41,206戸	93.3%
共同建	低層	木質系	4,789戸	77.1%	3,065戸	64.0%	2,156戸	70.3%	1,437戸	66.7%	1,637戸	113.9%
		鉄鋼系	34,220戸	82.3%	30,877戸	90.2%	23,797戸	77.1%	23,135戸	97.2%	22,239戸	96.1%
		コンクリート系	167戸	71.4%	172戸	103.0%	150戸	87.2%	114戸	76.0%	141戸	123.7%
		小 計	39,176戸	81.5%	34,114戸	87.1%	26,103戸	76.5%	24,686戸	94.6%	24,017戸	97.3%
	中高層	木質系	814戸	142.8%	474戸	58.2%	522戸	110.1%	700戸	134.1%	639戸	91.3%
		鉄鋼系	48,900戸	95.2%	46,824戸	95.8%	43,969戸	93.9%	44,894戸	102.1%	47,718戸	106.3%
		コンクリート系	9,616戸	128.6%	6,495戸	67.5%	4,982戸	76.7%	9,035戸	181.4%	11,400戸	126.2%
		小 計	59,330戸	99.9%	53,793戸	90.7%	49,473戸	92.0%	54,629戸	110.4%	59,757戸	109.4%
	合 計		98,506戸	91.7%	87,907戸	89.2%	75,576戸	86.0%	79,315戸	104.9%	83,774戸	105.6%
総合計			150,858戸	94.5%	135,783戸	90.0%	118,228戸	87.1%	123,470戸	104.4%	124,980戸	101.2%

グラフ 3 階層別・建方別完工戸数



(一戸建の構造別完工戸数)

□全体で 41,206 戸のうち、木質系 9,145 戸、鉄鋼系 31,655 戸、コンクリート系 406 戸であった。

□一戸建におけるプレハブ住宅比率は 10.4%。

(共同建の構造別完工戸数)

□全体で 83,774 戸のうち、木質系 2,276 戸、鉄鋼系 69,957 戸、コンクリート系 11,541 戸。

□共同建におけるプレハブ住宅比率は 18.1%。

(一戸建の階数別・構造別完工戸数シェア)

□1 階建では、鉄鋼系が 65.5%、木質系が 33.3%、2 階建では、鉄鋼系が 78.7%、3 階建では、鉄鋼系が 86.9%、4 階建以上では、鉄鋼系が 90.2%を占めている。

□コンクリート系は、4 階建以上では、9.8%となっている。

(共同建の階数別・構造別完工戸数シェア)

□1・2 階建では、鉄鋼系が 92.6%、木質系が 6.8%。

□3～5 階建では、鉄鋼系が 94.1%、コンクリート系が 4.6%。

□6 階建以上では、コンクリート系が 98.7%を占めている。

(賃貸住宅の構造別完工戸数)

□全体 67,267 戸を構造別にみると、木質系 2,295 戸、鉄鋼系 63,519 戸、コンクリート系 1,453 戸で、鉄鋼系が 94.4%を占めている。

□賃貸住宅におけるプレハブ住宅比率は 19.4%。

(サービス付き高齢者向け住宅の構造別完工戸数)

□全体 1,085 戸を構造別にみると、木質系 0 戸、鉄鋼系 1,085 戸、コンクリート系 0 戸。

表 3 構造別、建方別、階数別完工 (戸数、プレハブ住宅比率)

構 造	建方・階数	一戸建					共同建 (長屋建を含む)				総合計	うち 賃貸住宅	うち サ高住
		1 階建	2 階建	3 階建	4 階建 以上	合計	1・2 階建	3～5 階建	6 階建 以上	合計			
木質系	A	2,338戸	6,580戸	227戸	0戸	9,145戸	1,637戸	639戸	0戸	2,276戸	11,421戸	2,295戸	0戸
	シェア A/D	33.3%	20.4%	11.9%	0.0%	22.2%	6.8%	1.3%	0.0%	2.7%	9.1%	3.4%	0.0%
	うちユニット a	433戸	880戸	0戸	0戸	1,313戸	0戸	0戸	0戸	0戸	1,313戸	0戸	0戸
	シェア a/D	6.2%	2.7%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
鉄鋼系	B	4,600戸	25,367戸	1,651戸	37戸	31,655戸	22,239戸	47,600戸	118戸	69,957戸	101,612戸	63,519戸	1,085戸
	シェア B/D	65.5%	78.7%	86.9%	90.2%	76.8%	92.6%	94.1%	1.3%	83.5%	81.3%	94.4%	100.0%
	うちユニット b	1,238戸	9,767戸	390戸	0戸	11,395戸	2,651戸	295戸	0戸	2,946戸	14,341戸	2,568戸	4戸
	シェア b/D	17.6%	30.3%	20.5%	0.0%	27.7%	11.0%	0.6%	0.0%	3.5%	11.5%	3.8%	0.4%
コンクリート系	C	89戸	291戸	22戸	4戸	406戸	141戸	2,325戸	9,075戸	11,541戸	11,947戸	1,453戸	0戸
	シェア C/D	1.3%	0.9%	1.2%	9.8%	1.0%	0.6%	4.6%	98.7%	13.8%	9.6%	2.2%	0.0%
合 計	D	7,027戸	32,238戸	1,900戸	41戸	41,206戸	24,017戸	50,564戸	9,193戸	83,774戸	124,980戸	67,267戸	1,085戸
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
新設住宅着工戸数※ E						397,556戸				463,272戸	860,828戸	347,427戸	
プレハブ住宅比率 D/E						10.4%				18.1%	14.5%	19.4%	

※国土交通省「建築着工統計調査」(2022 年度)

□公的機関からの発注による完工戸数は、2022年度は13戸。

□構造別にみると、鉄鋼系が13戸、木質系が0戸、コンクリート系が0戸であった。

□地域別にみると、九州・沖縄地方が12戸と全体の92.3%を占めている。

表 4-1 構造別公的機関発注完工戸数

構造	2020 年度	割合	2021 年度	割合	2022 年度	割合	対前年度比
木質系	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
うちユニット	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
鉄鋼系	102戸	49.0%	161戸	21.5%	13戸	100.0%	8.1%
うちユニット	0戸	0.0%	102戸	13.6%	0戸	0.0%	0.0%
コンクリート系	106戸	51.0%	589戸	78.5%	0戸	0.0%	0.0%
合 計	208戸	100.0%	750戸	100.0%	13戸	100.0%	1.7%

表 4-2 地域別公的機関発注完工戸数

地域	2020 年度	割合	2021 年度	割合	2022 年度	割合	対前年度比
北海道	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
東北	16戸	7.7%	9戸	1.2%	0戸	0.0%	0.0%
関東	106戸	51.0%	446戸	59.5%	0戸	0.0%	0.0%
中部	41戸	19.7%	46戸	6.1%	0戸	0.0%	0.0%
近畿	0戸	0.0%	226戸	30.1%	1戸	7.7%	0.4%
中国	44戸	21.2%	8戸	1.1%	0戸	0.0%	0.0%
四国	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
九州・沖縄	1戸	0.5%	15戸	2.0%	12戸	92.3%	80.0%
合計	208戸	100.0%	750戸	100.0%	13戸	100.0%	1.7%

(注) 地域区分は後述「資料編」参照

□ 2022年度の長期優良住宅のプレハブ住宅完工戸数は35,102戸であり、プレハブ住宅完工総数の28.1%を占めている（前年度より2.9ポイント低下）。これは、同年度の全長期優良住宅認定戸数を全住宅着工戸数で割った割合の13.7%と比較して、14.4ポイント高くなっている。

また、全長期優良住宅認定戸数に占めるプレハブ住宅の割合は29.7%となっている。

（建方別・構造別の長期優良住宅比率）

□ 一戸建では、長期優良住宅のプレハブ住宅完工戸数は34,961戸であり、プレハブ住宅完工戸数全体の84.8%を占めている（前年度より0.7ポイント低下）。一戸建の着工総数に占める長期優良住宅比率（29.1%）より55.7ポイント上回っている。構造別にみると、木質系では78.5%、鉄鋼系では87.5%、コンクリート系では21.4%となっている。また、全長期優良住宅認定戸数（一戸建）に占めるプレハブ住宅の割合は30.3%となっている。

□ 共同建では、長期優良住宅のプレハブ住宅完工戸数は141戸であり、プレハブ住宅完工戸数全体の0.2%となっている（前年度より0.5ポイント低下）。共同建全体の長期優良住宅比率（0.5%）より0.3ポイント下回っている。構造別にみると、木質系では1.2%、鉄鋼系では0.2%、コンクリート系では0.1%となっている。

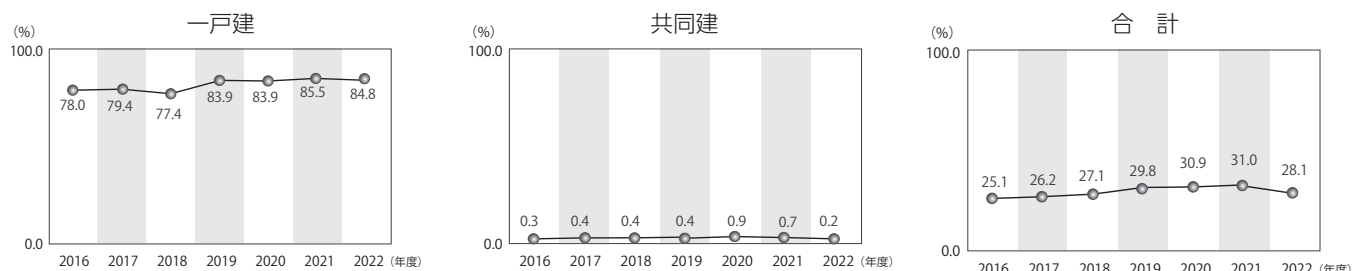
また、全長期優良住宅認定戸数（共同建）に占めるプレハブ住宅の割合は5.6%となっている。

表5 長期優良住宅完工（戸数、プレハブ住宅の割合）

			プレハブ住宅完工戸数に占める長期優良住宅					全国の住宅着工総数と長期優良住宅認定戸数 H	全長期優良住宅に占めるプレハブ住宅の割合 G/H
			木質系	うち ユニット	鉄鋼系	うち ユニット	コンクリート系	合計 G	
一戸建	長期優良住宅 A		7,181戸	1,083戸	27,693戸	9,839戸	87戸	34,961戸	(注1) 115,509戸
	プレハブ住宅全体 B		9,145戸	1,313戸	31,655戸	11,395戸	406戸	41,206戸	(注2) 397,556戸
	長期優良住宅比率 A/B		78.5%	82.5%	87.5%	86.3%	21.4%	84.8%	29.1%
共同建 (長屋建を含む)	長期優良住宅 C		27戸	0戸	107戸	24戸	7戸	141戸	(注1) 2,527戸
	プレハブ住宅全体 D		2,276戸	0戸	69,957戸	2,946戸	11,541戸	83,774戸	(注2) 463,272戸
	長期優良住宅比率 C/D		1.2%	-	0.2%	0.8%	0.1%	0.2%	0.5%
合計	長期優良住宅 E		7,208戸	1,083戸	27,800戸	9,863戸	94戸	35,102戸	(注1) 118,036戸
	プレハブ住宅全体 F		11,421戸	1,313戸	101,612戸	14,341戸	11,947戸	124,980戸	(注2) 860,828戸
	長期優良住宅比率 E/F		63.1%	82.5%	27.4%	68.8%	0.8%	28.1%	13.7%

（注1）国土交通省調査（2022年度）の長期優良住宅認定戸数。（注2）国土交通省「建築着工統計調査」（2022年度）の住宅着工戸数。

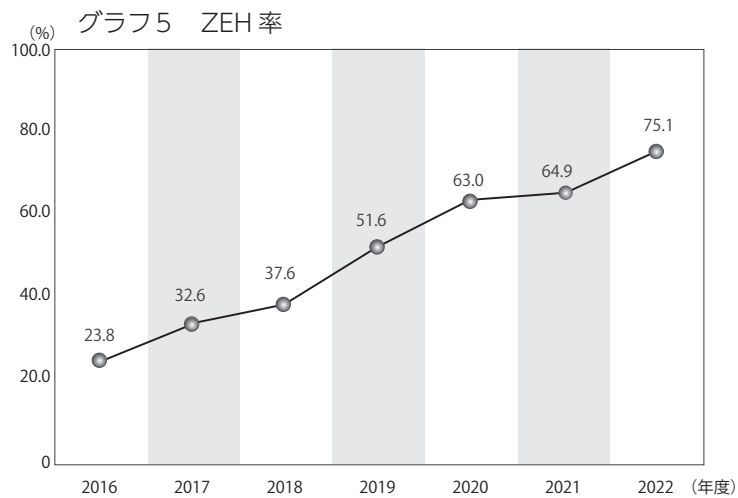
グラフ4 長期優良住宅比率



- ZEH の 2022 年度完工総数（一戸建）は 30,941 戸で、一戸建プレハブ住宅の 75.1% を占めており、前年度より 10.2 ポイント上昇している。
- 構造別に ZEH の比率をみると、木質系では 68.7%、鉄鋼系では 77.9%、コンクリート系では 1.0% であった。

表 6 ZEH 完工（戸数、ZEH 率）

			木質系		鉄鋼系		コンクリート系	プレハブ住宅完工戸数合計
				うちユニット		うちユニット		
一戸建	ZEH	A	6,283 戸	1,460 戸	24,654 戸	10,024 戸	4 戸	30,941 戸
	プレハブ住宅全体	B	9,145 戸	1,313 戸	31,655 戸	11,395 戸	406 戸	41,206 戸
	ZEH 率	A/B	68.7%	111.2%	77.9%	88.0%	1.0%	75.1%



□プレハブ住宅比率の高い都道府県は、一戸建では静岡県・三重県・岡山県など、共同建では岐阜県・福井県・栃木県などであり、一方、低い都道府県は、一戸建では沖縄県・島根県・富山県など、共同建では沖縄県・福岡県・長崎県などである。プレハブ住宅戸数の多い都道府県は、東京都・神奈川県・愛知県などである。

総数

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	岐阜	2,586戸	23.8%
	2位	栃木	2,296戸	21.4%
	3位	奈良	1,298戸	21.3%
	4位	福井	996戸	21.1%
	5位	岡山	2,448戸	20.8%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄	124戸	1.3%
	46位	鹿児島	548戸	5.6%
	45位	青森	308戸	5.9%
	44位	福岡	2,966戸	7.2%
	43位	長崎	580戸	7.9%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京	20,419戸
	2位	神奈川	11,540戸
	3位	愛知	11,324戸
	4位	千葉	8,498戸
	5位	埼玉	8,379戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄	124戸
	46位	鳥取	245戸
	45位	徳島	291戸
	44位	青森	308戸
	43位	島根	394戸

建方別・一戸建

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	静岡	2,551戸	19.3%
	2位	三重	1,041戸	17.3%
	3位	岡山	1,042戸	16.6%
	4位	山口	649戸	15.4%
	5位	長野	1,230戸	15.1%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄	124戸	3.3%
	46位	島根	75戸	4.0%
	45位	富山	148戸	4.4%
	44位	青森	179戸	4.7%
	43位	鹿児島	257戸	4.7%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	愛知	4,408戸
	2位	東京	2,611戸
	3位	静岡	2,551戸
	4位	埼玉	2,540戸
	5位	神奈川	2,209戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	島根	75戸
	46位	鳥取	122戸
	45位	沖縄	124戸
	44位	徳島	143戸
	43位	富山	148戸

建方別・共同建

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	岐阜	1,648戸	50.5%
	2位	福井	809戸	40.6%
	3位	栃木	1,107戸	39.4%
	4位	石川	789戸	38.3%
	5位	山梨	430戸	37.8%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄	0戸	0.0%
	46位	福岡	1,556戸	6.2%
	45位	長崎	273戸	6.7%
	44位	鹿児島	291戸	6.8%
	43位	北海道	1,198戸	7.1%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京	17,808戸
	2位	神奈川	9,331戸
	3位	愛知	6,916戸
	4位	千葉	6,309戸
	5位	埼玉	5,839戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄	0戸
	46位	鳥取	123戸
	44位	青森	129戸
	44位	徳島	148戸
	43位	山形	162戸

賃貸住宅

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	岐阜	1,646戸	52.3%
	2位	福井	814戸	43.4%
	3位	奈良	632戸	42.3%
	4位	石川	786戸	41.5%
	5位	山梨	415戸	37.5%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄	0戸	0.0%
	46位	北海道	236戸	1.7%
	45位	福岡	1,407戸	7.1%
	44位	長崎	251戸	7.8%
	43位	岩手	241戸	9.3%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京	11,720戸
	2位	神奈川	7,995戸
	3位	千葉	5,084戸
	4位	埼玉	4,687戸
	5位	愛知	4,524戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄	0戸
	46位	鳥取	120戸
	45位	青森	127戸
	44位	徳島	149戸
	43位	山形	161戸

グラフ6 プレハブ住宅地域別完工戸数比率

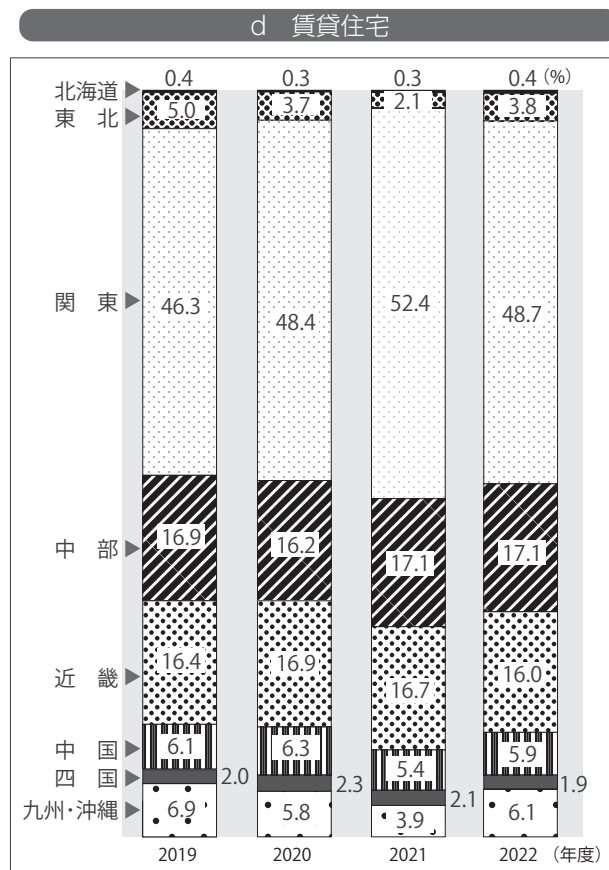
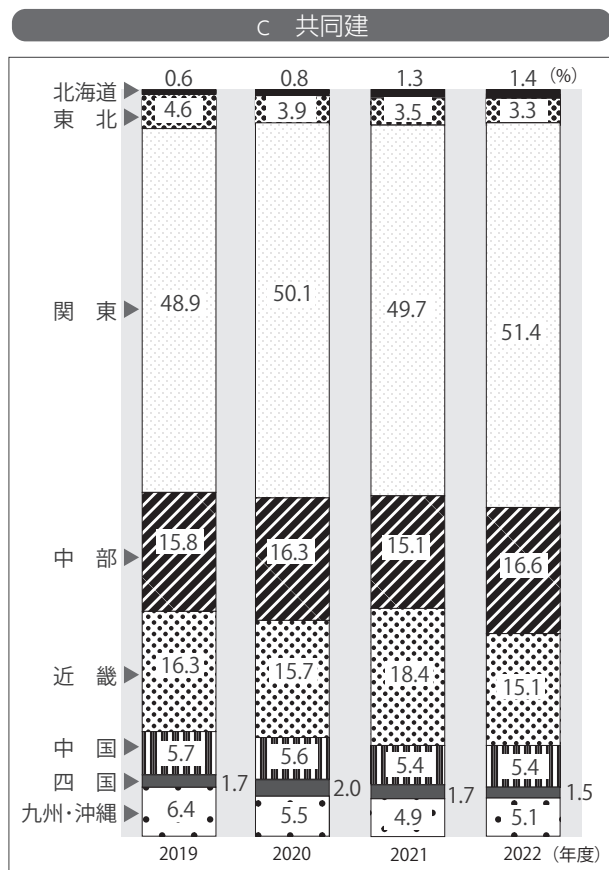
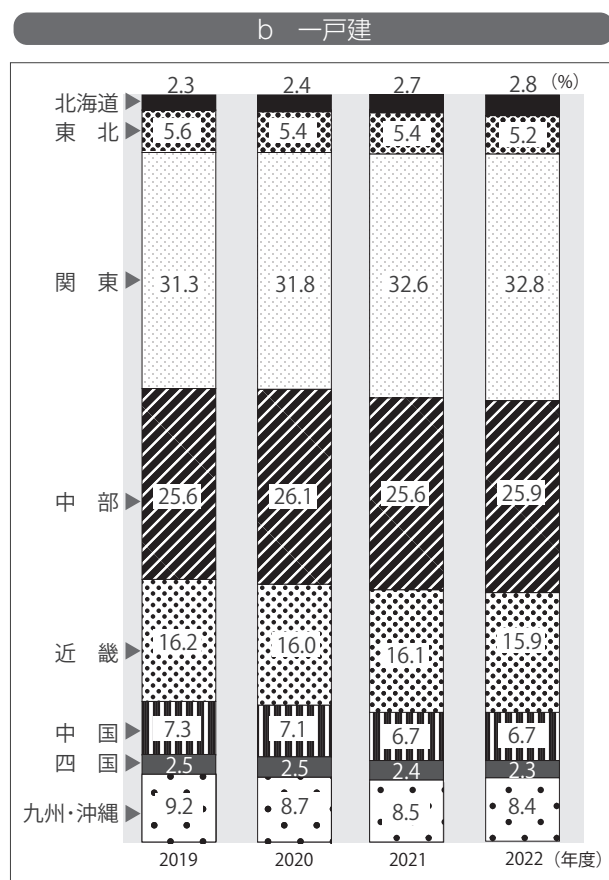
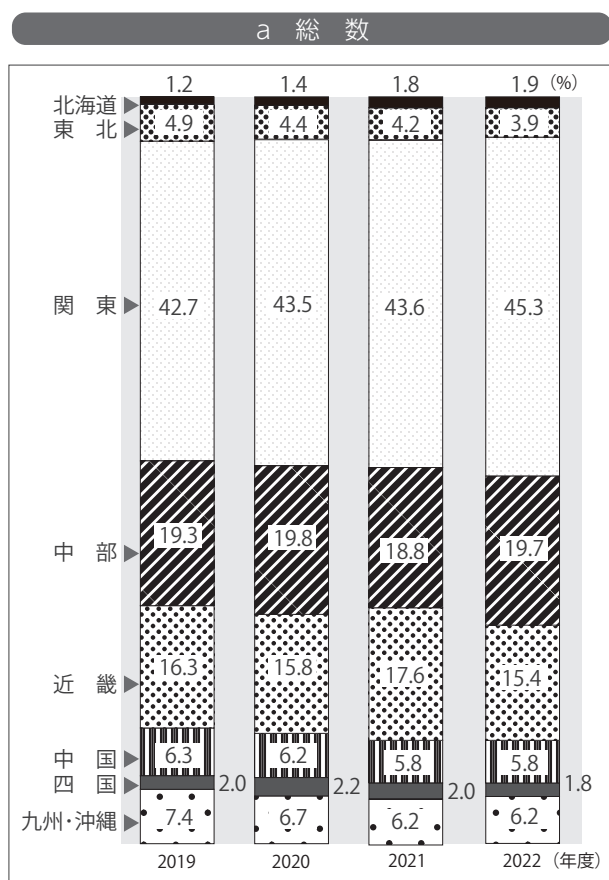


図 1 - 1 新設住宅着工戸数に占めるプレハブ住宅比率（都道府県別）（総 数）

a 総 数

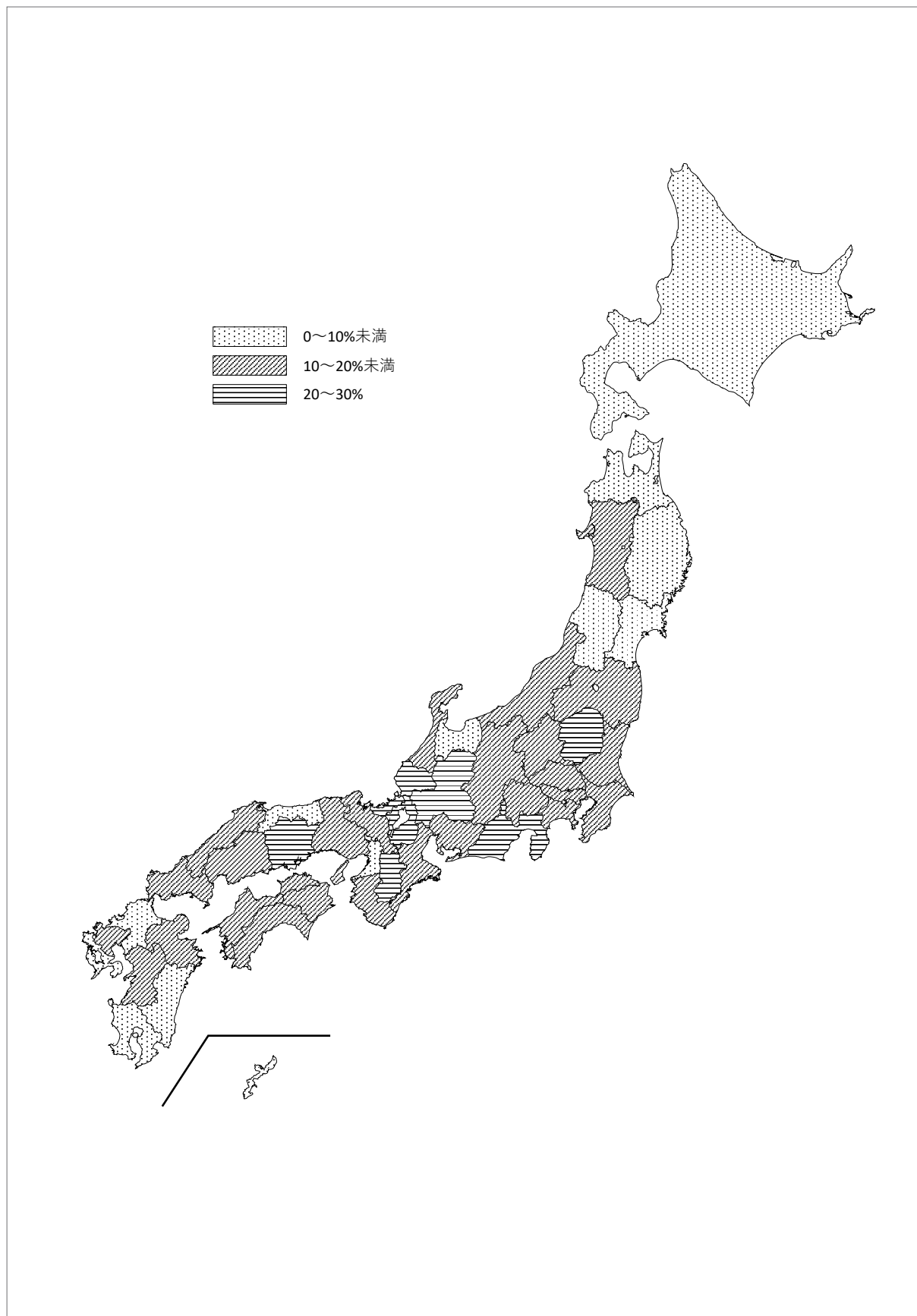


図1-2 新設住宅着工戸数に占めるプレハブ住宅比率（都道府県別）（一戸建）

b 一戸建

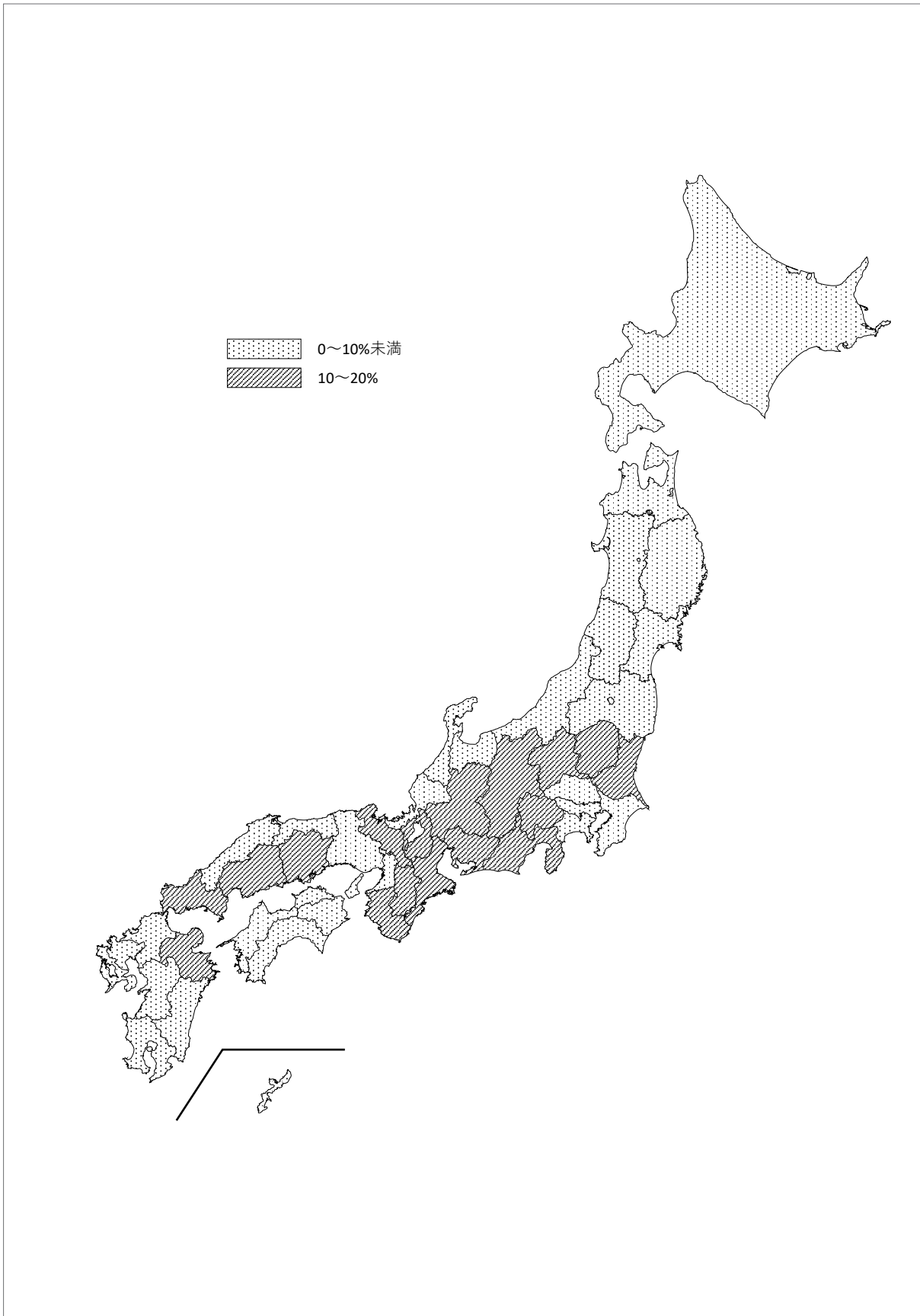


図 1 - 3 新設住宅着工戸数に占めるプレハブ住宅比率（都道府県別）（共同建）

C 共同建

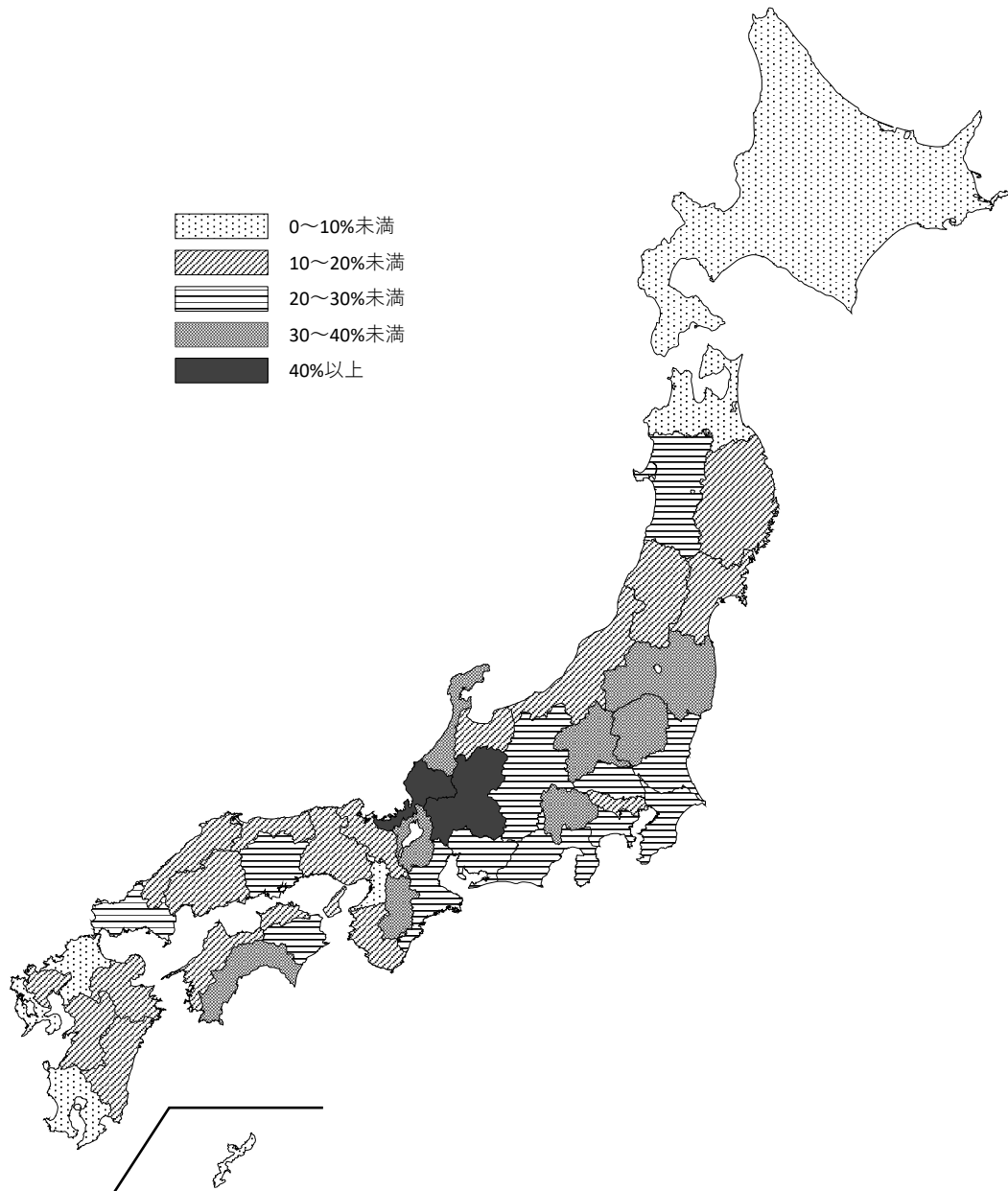


図1-4 新設住宅着工戸数に占めるプレハブ住宅比率（都道府県別）（賃貸住宅）

d 賃貸住宅

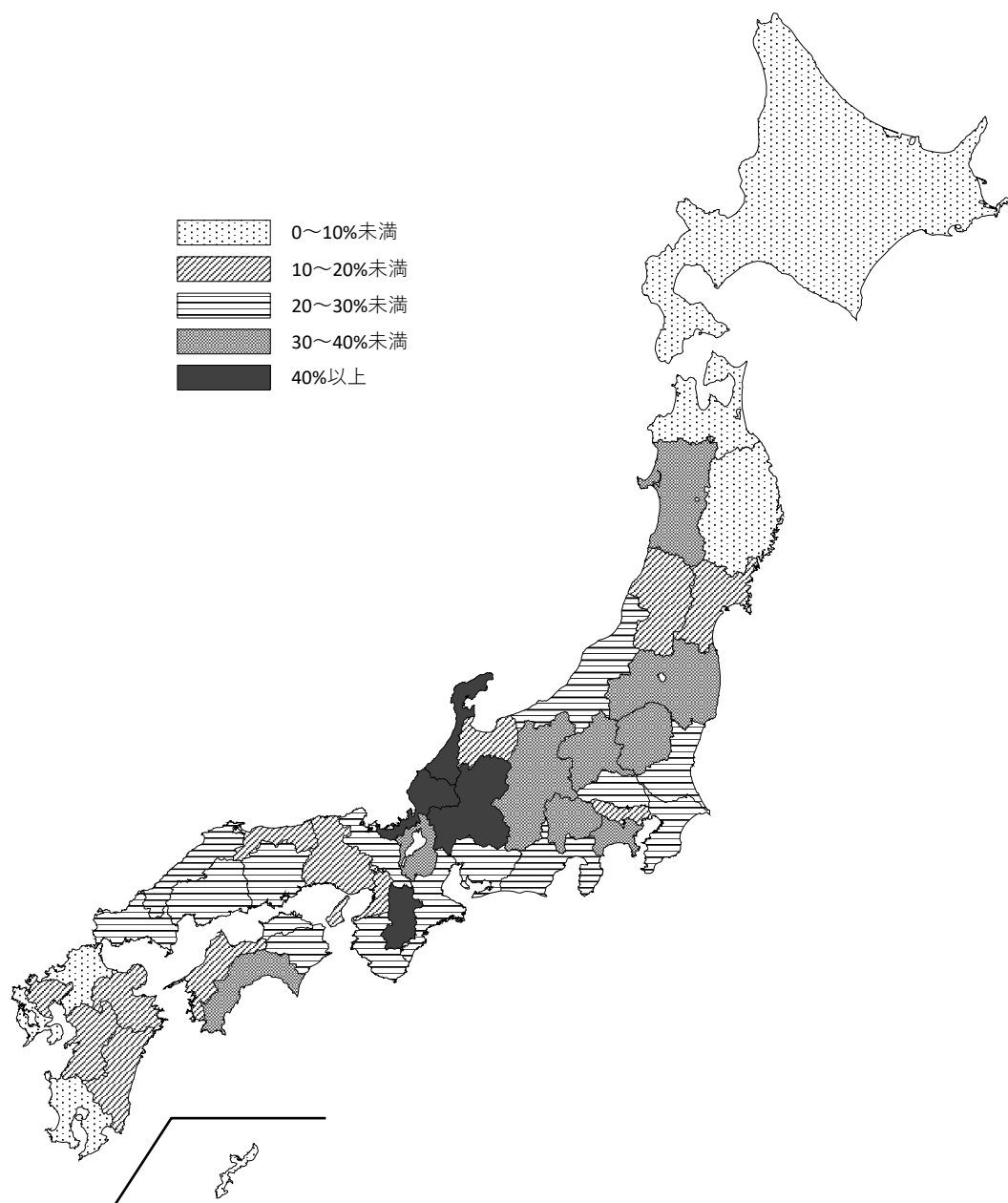


表 7 都道府県別、建方別完工（戸数、前年度比、プレハブ住宅比率）

	一戸建				共同建（長屋建を含む）				総 数				
	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数※	プレハブ住宅比率	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数	プレハブ住宅比率	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数	プレハブ住宅比率	
	A		B	A/B	C		D	C/D	E		F	E/F	
全国計	41,206戸	93.3%	397,556戸	10.4%	83,774戸	105.6%	463,272戸	18.1%	124,980戸	101.2%	860,828戸	14.5%	全国計
北海道	1,152戸	97.0%	12,742戸	9.0%	1,198戸	119.7%	16,834戸	7.1%	2,350戸	107.4%	29,576戸	7.9%	北海道
青森	179戸	101.1%	3,810戸	4.7%	129戸	66.2%	1,368戸	9.4%	308戸	82.8%	5,178戸	5.9%	青森
岩手	256戸	91.8%	3,749戸	6.8%	313戸	84.8%	2,900戸	10.8%	569戸	87.8%	6,649戸	8.6%	岩手
宮城	675戸	93.8%	7,901戸	8.5%	996戸	90.3%	9,698戸	10.3%	1,671戸	91.7%	17,599戸	9.5%	宮城
秋田	172戸	83.1%	2,690戸	6.4%	342戸	247.8%	1,152戸	29.7%	514戸	149.0%	3,842戸	13.4%	秋田
山形	257戸	95.2%	3,184戸	8.1%	162戸	72.0%	1,375戸	11.8%	419戸	84.6%	4,559戸	9.2%	山形
福島	618戸	86.2%	6,377戸	9.7%	805戸	103.5%	2,397戸	33.6%	1,423戸	95.2%	8,774戸	16.2%	福島
東北計	2,157戸	91.0%	27,711戸	7.8%	2,747戸	97.8%	18,890戸	14.5%	4,904戸	94.7%	46,601戸	10.5%	東北計
茨城	1,740戸	95.3%	11,557戸	15.1%	1,613戸	102.0%	5,941戸	27.2%	3,353戸	98.4%	17,498戸	19.2%	茨城
栃木	1,189戸	93.5%	7,902戸	15.0%	1,107戸	104.0%	2,810戸	39.4%	2,296戸	98.3%	10,712戸	21.4%	栃木
群馬	1,040戸	101.7%	8,180戸	12.7%	1,061戸	149.4%	3,145戸	33.7%	2,101戸	121.2%	11,325戸	18.6%	群馬
埼玉	2,540戸	98.6%	30,035戸	8.5%	5,839戸	112.2%	22,209戸	26.3%	8,379戸	107.7%	52,244戸	16.0%	埼玉
千葉	2,189戸	89.1%	22,775戸	9.6%	6,309戸	107.7%	24,805戸	25.4%	8,498戸	102.2%	47,580戸	17.9%	千葉
東京	2,611戸	90.2%	32,116戸	8.1%	17,808戸	113.0%	103,266戸	17.2%	20,419戸	109.5%	135,382戸	15.1%	東京
神奈川	2,209戸	94.1%	28,265戸	7.8%	9,331戸	101.3%	38,932戸	24.0%	11,540戸	99.8%	67,197戸	17.2%	神奈川
関東計	13,518戸	93.9%	140,830戸	9.6%	43,068戸	109.4%	201,108戸	21.4%	56,586戸	105.2%	341,938戸	16.5%	関東計
新潟	576戸	100.3%	6,774戸	8.5%	543戸	106.5%	2,743戸	19.8%	1,119戸	103.2%	9,517戸	11.8%	新潟
富山	148戸	107.2%	3,348戸	4.4%	344戸	67.2%	1,989戸	17.3%	492戸	75.7%	5,337戸	9.2%	富山
石川	185戸	98.4%	3,884戸	4.8%	789戸	74.1%	2,062戸	38.3%	974戸	77.7%	5,946戸	16.4%	石川
福井	187戸	114.0%	2,728戸	6.9%	809戸	113.9%	1,992戸	40.6%	996戸	114.0%	4,720戸	21.1%	福井
山梨	435戸	91.0%	3,359戸	13.0%	430戸	108.6%	1,137戸	37.8%	865戸	99.0%	4,496戸	19.2%	山梨
長野	1,230戸	96.9%	8,140戸	15.1%	977戸	95.4%	3,848戸	25.4%	2,207戸	96.2%	11,988戸	18.4%	長野
岐阜	938戸	95.7%	7,622戸	12.3%	1,648戸	167.0%	3,264戸	50.5%	2,586戸	131.5%	10,886戸	23.8%	岐阜
静岡	2,551戸	93.2%	13,243戸	19.3%	1,489戸	75.4%	6,668戸	22.3%	4,040戸	85.7%	19,911戸	20.3%	静岡
愛知	4,408戸	91.9%	29,485戸	14.9%	6,916戸	145.1%	27,547戸	25.1%	11,324戸	118.5%	57,032戸	19.9%	愛知
中部計	10,658戸	94.1%	78,583戸	13.6%	13,945戸	116.8%	51,250戸	27.2%	24,603戸	105.7%	129,833戸	18.9%	中部計
三重	1,041戸	92.6%	6,016戸	17.3%	886戸	70.7%	3,891戸	22.8%	1,927戸	81.1%	9,907戸	19.5%	三重
滋賀	689戸	92.0%	5,518戸	12.5%	1,418戸	117.6%	4,613戸	30.7%	2,107戸	107.8%	10,131戸	20.8%	滋賀
京都	706戸	95.9%	6,612戸	10.7%	1,736戸	92.8%	9,128戸	19.0%	2,442戸	93.7%	15,740戸	15.5%	京都
大阪	1,754戸	93.3%	19,939戸	8.8%	4,730戸	76.4%	53,837戸	8.8%	6,484戸	80.3%	73,776戸	8.8%	大阪
兵庫	1,424戸	86.8%	14,314戸	9.9%	2,848戸	90.8%	17,597戸	16.2%	4,272戸	89.4%	31,911戸	13.4%	兵庫
奈良	545戸	91.8%	4,077戸	13.4%	753戸	105.5%	2,020戸	37.3%	1,298戸	99.2%	6,097戸	21.3%	奈良
和歌山	393戸	96.8%	3,032戸	13.0%	302戸	114.8%	1,558戸	19.4%	695戸	103.9%	4,590戸	15.1%	和歌山
近畿計	6,552戸	91.9%	59,508戸	11.0%	12,673戸	86.6%	92,644戸	13.7%	19,225戸	88.3%	152,152戸	12.6%	近畿計
鳥取	122戸	115.1%	1,746戸	7.0%	123戸	67.2%	811戸	15.2%	245戸	84.8%	2,557戸	9.6%	鳥取
島根	75戸	98.7%	1,856戸	4.0%	319戸	113.9%	1,775戸	18.0%	394戸	110.7%	3,631戸	10.9%	島根
岡山	1,042戸	95.5%	6,259戸	16.6%	1,406戸	100.5%	5,484戸	25.6%	2,448戸	98.3%	11,743戸	20.8%	岡山
広島	854戸	88.6%	7,721戸	11.1%	2,049戸	116.7%	10,992戸	18.6%	2,903戸	106.7%	18,713戸	15.5%	広島
山口	649戸	91.3%	4,219戸	15.4%	652戸	102.5%	2,796戸	23.3%	1,301戸	96.6%	7,015戸	18.5%	山口
中国計	2,742戸	93.0%	21,801戸	12.6%	4,549戸	106.9%	21,858戸	20.8%	7,291戸	101.2%	43,659戸	16.7%	中国計
徳島	143戸	92.3%	2,137戸	6.7%	148戸	57.6%	661戸	22.4%	291戸	70.6%	2,798戸	10.4%	徳島
香川	286戸	83.9%	3,253戸	8.8%	381戸	101.9%	2,181戸	17.5%	667戸	93.3%	5,434戸	12.3%	香川
愛媛	342戸	91.0%	4,092戸	8.4%	502戸	101.8%	2,752戸	18.2%	844戸	97.1%	6,844戸	12.3%	愛媛
高知	179戸	97.3%	1,855戸	9.6%	255戸	105.8%	833戸	30.6%	434戸	102.1%	2,688戸	16.1%	高知
四国計	950戸	90.0%	11,337戸	8.4%	1,286戸	94.2%	6,427戸	20.0%	2,236戸	92.4%	17,764戸	12.6%	四国計
福岡	1,410戸	89.8%	15,872戸	8.9%	1,556戸	84.1%	25,082戸	6.2%	2,966戸	86.7%	40,954戸	7.2%	福岡
佐賀	273戸	92.9%	3,003戸	9.1%	379戸	144.1%	2,368戸	16.0%	652戸	117.1%	5,371戸	12.1%	佐賀
長崎	307戸	102.0%	3,314戸	9.3%	273戸	137.9%	4,070戸	6.7%	580戸	116.2%	7,384戸	7.9%	長崎
熊本	463戸	87.7%	6,660戸	7.0%	1,170戸	116.0%	6,870戸	17.0%	1,633戸	106.2%	13,530戸	12.1%	熊本
大分	390戸	90.9%	3,425戸	11.4%	357戸	118.2%	3,464戸	10.3%	747戸	102.2%	6,889戸	10.8%	大分
宮崎	253戸	89.4%	3,605戸	7.0%	282戸	188.0%	2,364戸	11.9%	535戸	123.6%	5,969戸	9.0%	宮崎
鹿児島	257戸	100.0%	5,427戸	4.7%	291戸	194.0%	4,307戸	6.8%	548戸	134.6%	9,734戸	5.6%	鹿児島
沖縄	124戸	149.4%	3,738戸	3.3%	0戸	0.0%	5,736戸	0.0%	124戸	144.2%	9,474戸	1.3%	沖縄
九州・沖縄計	3,477戸	92.8%	45,044戸	7.7%	4,308戸	109.8%	54,261戸	7.9%	7,785戸	101.5%	99,305戸	7.8%	九州・沖縄計

※国土交通省「建築着工統計調査」（2022年度）

□ 2022年度のプレハブ住宅生産能力は、生産工場数が150工場、生産能力戸数が236,427戸であった。

□ 2021年度と比較して、工場数は2工場の増加、生産能力戸数は7,850戸の増加となった。

□ 生産能力戸数の構造別構成比をみると、木質系4.4%、鉄鋼系67.5%、コンクリート系低層5.3%、コンクリート系中高層22.8%であった。

(上段：戸数)
(中段：工場数)
(下段：地域比)

表 8-1 プレハブ住宅生産能力 (2023年3月31日現在)

		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国	構造比 注2
木質系	能力	450戸	480戸	4,992戸	1,140戸	-	2,277戸	-	950戸	10,289戸	4.4%
	工場数	1	1	3	2	-	3	-	2	12	
	地域比 注1	4.4%	4.7%	48.5%	11.1%	-	22.1%	-	9.2%	100.0%	
鉄鋼系	能力	966戸	7,352戸	56,259戸	29,797戸	40,791戸	18,773戸	-	5,733戸	159,671戸	67.5%
	工場数	1	3	8	8	7	3	-	2	32	
	地域比	0.6%	4.6%	35.2%	18.7%	25.5%	11.8%	-	3.6%	100.0%	
コンクリート系 低層	能力	485戸	-	9,145戸	412戸	1,006戸	1,100戸	-	309戸	12,457戸	5.3%
	工場数	1	-	11	3	4	3	-	4	26	
	地域比	3.9%	-	73.4%	3.3%	8.1%	8.8%	-	2.5%	100.0%	
コンクリート系 中高層	能力	5,319戸	3,115戸	23,595戸	6,908戸	5,991戸	1,498戸	927戸	6,657戸	54,010戸	22.8%
	工場数	6	6	29	11	10	3	3	12	80	
	地域比	9.8%	5.8%	43.7%	12.8%	11.1%	2.8%	1.7%	12.3%	100.0%	
合計	能力	7,220戸	10,947戸	93,991戸	38,257戸	47,788戸	23,648戸	927戸	13,649戸	236,427戸	100.0%
	工場数 注3	9	10	51	24	21	12	3	20	150	
	地域比	3.1%	4.6%	39.8%	16.2%	20.2%	10.0%	0.4%	5.8%	100.0%	

(注1) 地域比は総生産能力に各地域が占める割合。

(注2) 構造比は総生産能力に各構造が占める割合。

(注3) 合計の工場数は、構造毎の工場数を単純に合計したもの。

(注4) 木質・鉄鋼重複の工場はそれぞれ1とカウントしている。

(注5) コンクリート系低層とコンクリート系中高層の重複工場はそれぞれ1とカウントしている。

表 8-2 プレハブ住宅生産能力推移 (2023年3月31日現在)

(上段：戸数)
(下段：工場数)

		2018 年度	構造比 注2	2019 年度	構造比	2020 年度	構造比	2021 年度	構造比	2022 年度	構造比
木質系	能力	52,550戸	17.6%	51,540戸	17.5%	25,157戸	9.4%	9,701戸	4.2%	10,289戸	4.4%
	工場数	18	12.9%	17	12.1%	16	11.4%	12	8.1%	12	8.0%
鉄鋼系	能力	186,651戸	62.7%	182,621戸	62.1%	163,196戸	60.9%	158,352戸	69.3%	159,671戸	67.5%
	工場数	35	25.0%	32	22.9%	33	23.6%	32	21.6%	32	21.3%
コンクリート系 低層	能力	3,135戸	1.1%	7,975戸	2.7%	21,775戸	8.1%	8,326戸	3.6%	12,457戸	5.3%
	工場数	16	11.4%	17	12.1%	17	12.1%	27	18.2%	26	17.3%
コンクリート系 中高層	能力	55,567戸	18.7%	51,716戸	17.6%	57,873戸	21.6%	52,198戸	22.8%	54,010戸	22.8%
	工場数	71	50.7%	74	52.9%	74	52.9%	77	52.0%	80	53.3%
合計	能力	297,903戸	100.0%	293,852戸	100.0%	268,001戸	100.0%	228,577戸	100.0%	236,427戸	100.0%
	工場数	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%	148	100.0%	150	100.0%

表 8-1(注)と同じ。

(参考) 災害時における応急仮設住宅の建設

当協会は、地震、風水害などの自然災害で被災された方々に一刻でも早く応急仮設住宅を供給できるよう、全国 47 都道府県と 12 救助実施市との間で「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を締結している。災害救助法が適用された都道府県知事等からの応急仮設住宅の建設要請を受け、当協会は当該都道府県知事等に対し会員会社を斡旋し、円滑かつ迅速な応急仮設住宅の建設を行っている。

2019 年度には、令和元年東日本台風（台風第 19 号）による災害を受けて、宮城県大郷町（45 戸）・丸森町（208 戸）、茨城県大子町（15 戸）及び長野県長野市（45 戸）に、計 313 戸の被災者用応急仮設住宅を建設した。また、埼玉県川越市に、76 床を有する福祉仮設住宅を建設した。

2020 年度、2021 年度及び 2022 年度は、建設実績はなかった。

表 9 災害時における応急仮設住宅の建設実績

2011 年度		2012 年度		2013 年度		2014 年度		2015 年度	
岩手県	11,379 戸	福岡県	25 戸	東京都	46 戸	長野県	35 戸	鹿児島県	27 戸
宮城県	21,572 戸			山口県	40 戸			沖縄県	3 戸
福島県	10,004 戸			鹿児島県	25 戸				
栃木県	20 戸								
千葉県	230 戸								
長野県	55 戸								
奈良県	57 戸								
和歌山県	44 戸								
43,361 戸		25 戸		111 戸		35 戸		30 戸	

2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度	
岩手県	171 戸	-	-	北海道	208 戸	宮城県	253 戸	-	-
熊本県	3,605 戸			岡山県	158 戸	茨城県	15 戸		
				広島県	178 戸	長野県	45 戸		
				愛媛県	12 戸				
				北海道 (福祉仮設住宅)	144 床	埼玉県 (福祉仮設住宅)	76 床		
3,776 戸		0 戸		556 戸		313 戸		0 戸	

2021 年度		2022 年度	
-	-	-	-
0 戸		0 戸	

(注 1) 上記の戸数は、プレハブ住宅完工戸数には含まれていない。

(注 2) 年度区分は、災害発生年度としている。

(注 3) 2018 年度の合計戸数 556 戸には、福祉仮設住宅（北海道 144 床）は含まれていない。

(注 4) 2019 年度の合計戸数 313 戸には、福祉仮設施設（埼玉県 76 床）は含まれていない。